

「face to faceを科学する」月刊イベントマーケティング

EVENT 57 MARKETING

March 31, 2020

特集 イベントを止めるな！



今月の特別企画
広島経済大学 OB 座談会
スポーツイベント×地域創生

発行所：株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 5F
TEL03-6721-5303 sofu@event-marketing.co.jp

TAKE FREE

www.event-marketing.co.jp



逆境にこそ咲く花あり

新型コロナウイルス禍で、経済活動の低下が不安視されているなか、内閣府で「新型コロナウイルス感染症の実体経済への影響に関する集中ヒアリング」が行われた。「フリーランス・個人」、「飲食」、「中小企業、小売」、「運輸、宿泊・観光」と続き、3月24日、第5回目に招集があったのが「音楽イベント・展示会、金融」だ。

安倍晋三首相は冒頭挨拶で、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のなかで大人数の集まる全国的な大規模イベントについては、中止、延期、また規模縮小等の要請をしたことに触れ「経済活動停滞にもつながり、大変甚大な悪影響が出てくると強く懸念をしている」として、雇用の死守を念頭に、事業継続のための支援、感染症収束の先の経済財政政策に

必要な、現場の意見の聴取をした。

折しもこの日はTOKYO2020の1年以内の延期が決まった日でもあり、東京ビッグサイトや幕張メッセなど大型展示会場の会場問題を抱える展示会・ライブ業界は深刻だ。延期によるダメージは事業者だけでなく、そこに参加する出展者・来場者の販促・マーケティング活動に大きな影響を及ぼす。

もちろん展示会はツールであり、チャネルの一つであって、全体最適でのマーケティング設計をしていこうというのが本紙の創刊からのメッセージでもある。今回、オンラインカンファレンスやセミナーが数多く立ち上がり、オンライン展示会に2000人以上が登録、ピッチ形式で出展者がスライドを共有しながらQ&Aを展開し、インタラクティブにコミュニケーションするなど、代替し持続する姿に画面越しから拍手を送っていた。逆境の経験が新しい展示会・イベントとなってリアルに芽吹くのを早く目撃したい。

すべてのイベントの悩み は、イベントレジストにお任せください！

ビジネスイベントの豊富な経験と実績、イベント主催者様の立場になってサポートします



申込受付管理

ウェブ事前受付
オンライン決済
チケット発券



各種事務局

来場者事務局
スポンサー事務局
登壇者事務局



企画制作・運営

カンファレンス
各種イベントの
企画制作・運営



集客広告

各種ウェブ広告
各種 SNS 広告の
提案・運用

イベントレジスト株式会社

http://eventregist.com 【資料請求・お問い合わせ】 MAIL:contact@eventregist.com TEL:03-6869-5592

E EventRegist

イベントを止めるな！

～中止・延期のほかにできる、コロナ対策

昨年11月に発生した新型コロナウイルスによる疾患（COVID-19）が世界中に拡大。今年2月26日には、安倍首相が大型イベント自粛を要請した。イベントの中止・延期が相次ぎ、普段は多くの人が行き交う大型イベント会場も人影はまばらだ。この非常事態にイベント業界は、どのようにダメージを最小限に抑え、アフターコロナに向けて何をすべきか、いまできることをまとめた。

イベント中止は3割程度、延期・オンラインが増加

イベントレジスト

チケットング・来場者管理などのイベントプラットフォームを提供しているイベントレジストは、同社システムでのイベント中止や延期の継続とともに、その際の注意事項とFAQをまとめている。システム上の中止・延期の連絡に加えてSNSでの告知も併用すること、通常通りの開催する場合もアナウンスが必要などの提言を行っている。

イベントレジストCEOのヒラヤマ コウスケさんは、「緊急討論！ド～する？！イベント業界」に登壇し（詳細は本紙6・7面に掲載）。「プラットフォーム上、中止になったのは3割程度で、残りは延期・縮小、バーチャル開催」と現状を説明したほか、「オンラインは会場の収容人数という限界を突破する」、「人が集まるのは生活の一部。（コロナ禍が）収束したら、盛り上げよう」と提言した。



ヒラヤマ コウスケさん
イベントレジスト(株)
代表取締役CEO

バーチャル展示会でマーケティングを継続

ITmedia Virtual EXPO

ソフトバンクグループのIT情報サイトを運営するアイティメディア(株)は、2009年から「ITmedia Virtual

EXPO」を開催している。「展示会をそのままウェブ上で展開している」と同社イベント事業推進部長の滝沢渚さんが言うように、ロ

ゲインすると展示会場の入口にいるかのようだ。各社のブースでは商品紹介のプレゼンテーションやカタログのダウンロード、アンケートへの回答、問合せなどができる。また主催者企画セミナーや出展者プレゼン



テーションなど多数ラインナップされている。

Virtual EXPOの強みは「来場者の詳細な行動ログが取れること」（滝沢さん）。誰がどのブースでどのプレゼンを観たか、カタログをダウンロードしたかなどデータが取得できる。

またカタログや商品情報を、各社ブースを閲覧しなくても、商品カテゴリやキーワードなどで横断的に検索できることは、来場者にとっても大きなメリットになっている。

アイティメディアでは、自社開催のほかに、ITmedia Virtual EXPOに使用している「オンラインイベントプラットフォーム ON24」を、産業展示会や企業のプライベート向けに提供。日本分析機器工業会と日本科学機器協会が幕張メッセで開催しているJASISに合わせて「JASIS Web EXPO」にも提供、運営を行っ

ている。

「リアルな展示会・イベントに加えて“インターネット会場”という新しい会場を付け加える感じです」。JASISでは2年目以降、オンライン出展も出展メニューに加えられ、主催者のマネタイズにもなっている。以前同システムではチャット機能を搭載していたが、「商談や提案などはFace to Faceのコミュニケーションの方が便利」とリアルとバーチャルの棲み分けが進んでいる。アフターコロナではハイブリッド展示会としての需要が増えそうだ。



滝沢渚さん
アイティメディア(株)
イベント事業推進部長

～新商品取扱い～

セキュリティ SECURITY

・金属探知機

・W850×D500×H2200

ハンディタイプも
ございます。

特許
申請中

あらゆるセキュリティ対策に！

・X線手荷物探知機

・W2480×D875×H1270

手荷物内の危険物を容易に発見！

・バリケード/イベントフェンス 他

・W1250×D1250×H1200

・W1800×D450×H1100

特許
申請中

各種イベントで活躍中！

イベント関係 EVENT

・折り畳み式物品棚(キャスター付)

・W950×D450×H1800

折りたたみ式
物品棚

特許
申請中

コンパクトになり輸送で重宝！

・樹脂天板会議テーブル

・W1805×D450×H700

雨天時、飲食時に便利！

・ワンタッチテーブル

・φ600～900×H700～1000

取付け取外しがワンタッチ・種類豊富！

レンタル・販売 まずはお気軽にご連絡ください！

／ 各種ECサイト出展・自社HP直接販売 ／

— レンタル・各支店問い合わせ —

ジャパンレントオール ジャパンレントオール

Tel:0120-880-688
Mail:japan-rent-all.com
http://www.japan-rent-all.com/

— 販売 —

ジャパンイベントプロダクツ JEP

Tel:078-917-8805
Mail:japan-event-products.com
http://www.japan-event-products.com/

～スタッフ同時募集中～

IN ARIAKE

開設のお知らせ

弊社事業イベント仮設テント MOVE-Sの見学期間を当初の予定では5月末までとさせて頂いておりましたが、新型コロナウイルスの影響によりイベントの延期や中止が頻発している為、開設を3月末に前倒しとさせて頂きます。

ご愛顧頂きました方々には誠に申し訳ございませんが何卒宜しくお願い致します。

その他テント等レンタル品、イベントサポート等に関しましては右記お問い合わせ先より、随時お問い合わせ受付しております。

西尾レントオール(株)

RA 東日本営業部

TEL : 03-5765-9240

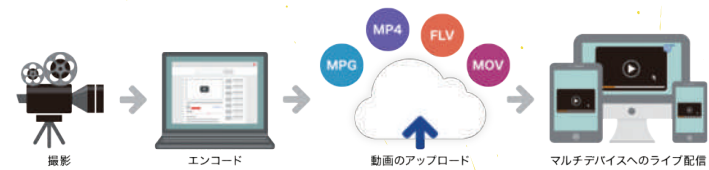
FAX : 03-5765-3240

http://event.nishio-rent.co.jp

総合レンタル業のバイオニア

西尾レントオール株式会社

高品質な LIVE 配信で多様なウェビナーを



ミルビィ

動画とビッグデータで企業のマーケティングを支援する(株)エビリーは、クラウド型動画配信サービス「millvi LIVE (ミルビィライブ)」を提供。セミナーやカンファレンスのオンライン配信に力を発揮する。

ウェブ会議システムを利用した配

信と比べ、ビデオカメラでの撮影など高品質な配信ができ、さらに CDN (負荷分散システム) を標準装備しているため大規模な配信にも対応可能だ。

撮影スタッフの派遣、配信用サイト制作、会員向け限定配信、テロップ VTR 挿入などの、コンテンツ編

集など、テレビ番組のようなプロ品質の映像を配信できる。

「ミルビィは、はじめて配信をする方にも利用できるワンストップなソリューション」と同社の若林健太さんは語る。

もちろんユーザー自身で手軽に配信することも可能で、Wirecast や OBS といった配信ソフト、配信機器 Live Shell X に対応する。

若林健太さん
(株)エビリー
ビデオソリューション事業部

アプリの無償提供 Live 配信機能も追加

eventos

イベント向けアプリを提供する(株)bravesoft は、アプリサービス「eventos」に Live 配信機能を追加。新型コロナウイルス禍が収束するまでの間、eventos の初期費用 14 万円

と月額 3 万円を無料提供する。

「主催者の皆さまにイベントテックを提供している私たちが、業界の損害に歯止めをかけなければ」という eventos 事業部長の岡慶彦さんの想いが実現した。Live 配信のニーズが

高まるなか、リアルとデジタルのハイブリッドを主催者に体験してもらう機会にもなっている。

Live 配信にモバイルアプリを活用することで ①配信トラックや質疑応答システムなど、コンテンツが多くてもアプリに全て集約されるので、参加者が迷わない②スマホファ-

オンラインイベントのメリット

	主催者/出展者	受講者/来場者
セミナー	・外的要因によるイベント中止が起きない ・上限人数が無限になる	・気楽に参加できる ・移動時間や場所を気にせずに参加する事ができる
展示会	・遠方/海外の方も参加対象となる	・ゆっくりと時間をかけて気になる内容を確認できる

eventos



岡 慶彦さん
(株)bravesoft
イベントス事業部長



う。

Live 配信で集めたユーザーをアプリで囲い込み、会員限定情報やコンテンツを提供し続けることで本物のファンが生まれ、さらに質の高いファンを呼んでくれる。

出会いや交流をオンライン上で再現

EventHub

イベント主催者・来場者の交流を促すマッチングシステム「EventHub」が、ライブ配信機能を追加し、一部企業を対象に無料提供されている。一方的な配信だけでなく、参加者同士のコミュニケーションを促進し、イベントの雰囲気や熱量をオンライン上で再現する。

(株)EventHub 代表取締役 CEO の山本理恵さんは「もともとオフラインのイベントを、テクノロジーにより来場者の体験を拡張するものなので、オンライン・ハイブリッド開催との親和性が高い。イベントの参加率や商談件数を向上している」という。

イベントの開催前にアポ取りするなど、ユーザーが長時間イベントページに滞在するため、多くの行動履歴を取得できる。CRM の Salesforce や名刺管理の Sansan (株)との連携など BtoB 企業のマーケティングデー

タの取得にも適している。

「会場で名刺交換したり、数分話したりするだけで、その後のコミュニケーションの温度感はまったく違う。オフラインの成果は絶大なもの」(山本さん)。

イベントの価値をテックで拡張し、ROI を可視化し向上していくのが、今後のハイブリッドイベントの方向性になりそうだ。



山本理恵さん
(株)EventHub
代表取締役CEO



イベントサイト & アプリ 内で
スマートな **ライブ視聴体験** を提供！

eventos

millvi

**ライブ配信
運用サービス**

イベント、セミナーの
ライブ配信に関わる業務を
ワンストップで承ります！

ウェブからのお問い合わせはこちらから→

株式会社エビリー ビデオソリューション事業部
TEL 03-6452-8917
ミルビィ公式 WEB サイト <https://millvi.jp>

EVENT MARKETING

FREE PAPER

読者Profile

特集

イベントマーケティングのトレンドを国内外の事例や動向から分析し、メーカー・イベントの皆さんと共有します。

国内・海外ニュース

ツールやテクノロジーの最新情報、開催直前概況・事後レポートなどを紹介します。

コラム

幅広い視野と独自の視点、経験をもつ著名人が執筆します。

インタビュー

リアルコミュニケーションを楽しくをテーマに、話題の方々ほか、インベーター、イベントメーカー、主催者の声を収録。

調査・レポート

効果測定や開催状況の集計、効果最大化の手法など、face to face を科学するレポートをお届けします。

大手メーカー・メーカー

▶年間イベント件数: 約20件
デジタルマーケティングとオフラインを組み合わせ、販促とファンづくりに

**製薬会社
ミーティングプランナー**

▶年間イベント件数: 100件超
業界のファーストムーバーとして異業種のトレンドを知り講演会に活かしたい

**IT 企業向け
マーケティングサポーター**

▶年間イベント件数: 約150件
イベントマーケティングに関わるテクノロジーやツールについて情報収集したい

毎月30日発行

定期送付申し込み

発行所: 株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9
ABC ビル 5F
TEL03-6721-5303
sofu@event-marketing.co.jp



左から、株式会社ジエブ 花岡 寛斗さん、株式会社セレスポ 谷本 共弥さん、株式会社ムラヤマ 渡邊 太貴さんとモデレータの目白大学メディア学部特任教授<イベント学> 岡星 竜美さん（会場提供:株式会社ジエブ）

web 版



広島出身で、広島経済大学 経済学部 スポーツ経営学科の卒業生が続々とスポーツイベントの現場で地域創生を支えるプロフェッショナルとして活躍している。その志を育んだ環境や、モチベーションの源を聞いた。

——はじめまして、目白大学メディア学部でイベントを教えています岡星竜美です。今回はスポーツイベント×地域創生をテーマにお話を伺います。私も以前はイベント制作会社で多くのイベントを手がけてきました。2002年のFIFAワールドカップでパブリックビューイングに関わり、スポーツイベントのチカラを実感しました。広島経済大学OBの皆さんには、簡単に自己紹介からお願いします。

花岡●株式会社ジエブ企画一部に所属しています。2016年からITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会（以下WTS横浜大会）の組織委員会事務局様と業務をご一緒させていただいています。

渡邊●株式会社ムラヤマのイベント営業

グループでスポーツ営業セクションに所属しています。この2月から営業に配属になりましたが、それまで施工管理を担当して、現場での物品の仕切りなど、どちらかというと広告代理店さんとの各種調整をしてきました。学生時代からサッカーをしてきて、仕事として携わりたいたと弊社に入り、ワールドカップや天皇杯などサッカーの現場を多く担当してきました。

谷本●株式会社セレスポの事業支援部施工・物流統括室施工センターに所属しています。入社1年目は、男子社員全員が施工センターに配属されます。企画から当日の設営・運営までを一括で、と謳っているの、まずはどんな什器・物品があって、どう施工をしているのかを知るためです。

スポーツイベントの舞台裏

——制作・運営の現場を通じてスポーツイベントが地域に貢献していると感じるシーンは

渡邊●2017年にさいたま国際マラソンを担当した際、設営面では多種多様なケアの仕方を

体験しました。たとえば、42.195キロという長距離を走り終えたランナーのことを考え、階段の上り下りではなくエスカレータ動線にする、サイン計画も変える、といった細やかな配慮がランナーファーストであることはもちろん、応援される方々へのケアも警備チームと連携を図りながら実施がなされています。そこまで含めて、一つのイベントの成功と言えるんだと実感しました。一般道、公道を使用するスポーツイベントならではの思いです。また、マラソンには給水・給食スポットがありますが、給食に地元埼玉の地域特産品を提供しており、スポーツイベントはシティプロモーションを兼ねていると実感しました。

谷本●担当したなかでは、WTS横浜大会が国際色の強いもので、なかでもスポーツがもつ一体感はほかのイベントにはない醍醐味だと思いました。だからこそ、自治体も一丸となって取り組むのだろうと感じます。

花岡●トライアスロンのような公道を走るスポーツイベントはとても調整が難しいものです。一番重要なのは、多方向への合意形成が求められる事です。地元警察などの行政、消防局、港湾局などの市政、大会会場周辺の企業、そして市民に安心・安全の管理をしっかりとみせていかなければ、たとえ1回成功したとしても続いていきません。WTS横浜大会が10年続いているのは、これまでの横浜チームが築いた関係性とその評価があってこそだと

思っています。

スポーツイベント支えるやりがい

——スポーツイベントを支える側としてのやりがいや充実感について教えてください

谷本●スポーツイベントは、喜怒哀楽がすべて詰まっているのが醍醐味です。大学のときから勉強して、ボランティア経験も含めて、現在セレスポでも仕事として経験できているのは、幸せですね。プレイヤー側も楽しんでいるけれど、支える側の僕らも楽しんでいる、というのはスポーツならではの感覚だと思います。

僕は昨年8月から11月まで、茨城県で行われた国民体育大会の開閉会式の仮設業務を担当しました。出場選手は高校生から20代で僕の年齢にも近い世代ですが、スタジアムには年齢層の高いおじいちゃんおばあちゃんから、小さい子供まで全世代がそろっていて、他のイベントではなかなかみることのできない光景でした。全部で約450張りのテントを立てる施工現場で、台風直撃されて何度もやり直したり、外で蚊にもたくさん刺されたり、大変でしたけど、普段みることのできない景色をみると、やってよかったと感じます。

渡邊●ムラヤマは、スポーツイベント以外にも一般イベントや展示会を担当する部署もあり、僕は両方ともいろんな現場をさせていただいています。そんななかで、ことスポーツには、巻き込んでいく力がコンテンツ自体にあると感じます。僕みたいにサッカーが好きでスポーツ部署に配属されるのは割合とめずらしいほうで、最初はそれほど興味がなかった先輩後輩が選手に詳しくなったり、勝敗に一喜一憂して応援したり、どんどん前のめりになっていくようすを見ると特にそう思います。僕は、サッカーを通じて、スポーツをする側、観る側、支える側とすべて経験していますが、いまは支える側で試合の運営を通じた満足感があります。

花岡●トライアスロンは、鉄人のスポーツと言われるほど過酷で、僕自身一度も経験がないのですが、この大会を運営しているんだという熱い気持ちを持っています。コースにある横浜コスモワールド、横浜赤レンガ倉庫、横浜ワールドポーターズ、ホテルなど、横浜を代表する名所を回るので、一箇所ずつ周って交

株式会社ジエブ 花岡 寛斗さん

企画一部
世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会事務局 競技運営部

●広島経済大学 2016 年卒
経済学部 スポーツ経営学科
<スポーツイベント実績（抜粋）>
D1GP ODAIBA~OSAKA DRIFT（2016～18年）
リオオリンピック体操日本代表帰国報告演技会（2016年）
ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会（2016～19年）など



人とスポーツを
感動でつなぐ

dentsu

株式会社 ジエブ
<https://www.jeb.co.jp>

その一瞬を
作り上げる！

セレスポ





株式会社 セレスポ 谷本 共弥さん
事業支援部 施工・物流統括室 施工センター

●**広島経済大学 2019 年卒**
経済学部 スポーツ経営学科
＜イベント実績（抜粋）＞・すべて2019年
ワールドプレミア（映画PRイベント）
ベルギービールフェス
世界トライアスロンシリーズ横浜大会
第74回国民体育大会 開閉会式、陸上競技
所沢シティマラソン
その他、フードフェス、販促・PRイベント等

通規制について説明して交渉していくんです。流通の街でもありますし、企業にとっては搬入計画が、飲食店には客足が変わります。ですから、一つひとつ、事前の交渉には数ヶ月前から足を運んで、終了後も報告書をお渡しし大会開催のお礼を伝えています。そこで出てくる会話の言葉は「よかった」もその逆も必ず持ち帰って、フィードバックし、アップデートして良くする、次に向けていきます。また、WTS横浜大会では子どもたちのキッズファンランなども実施していて、トライアスロンに興味が生えるきっかけとして人に残るものをつくられているのかなと思うと、大変なんです、感慨深いですし、奮い立つものがあります。

後輩へのメッセージ

——イベント業界に興味をもつ後輩たちにアプローチ方法などアドバイスをお願いします

渡邊●2年ほど前に、谷本くんからOB訪問を受けているんですよ。その時にも話したのですが、僕がムラヤマに入った経緯は、2011、12年にFIFAクラブワールドカップというサッカーの大会があった時に株式会社ジエブさんでアルバイトをして、そのときムラヤマが大会運営に関わっている会社だと知ったからなんです。サッカーに関わりたいたいという思いから、一

歩踏み出し、支える側に入ったことで、スポーツに関わる仕事の選択肢はふえました。だから、後輩には、やりたいと思ったことに対しては、とりあえず踏み出して欲しいと思います。

花岡●「なんでスポーツが好きなの？」って聞いたら、きっかけを答えるひとは多いと思います。それは素晴らしいことなんですが、その好きや楽しいという感情を、たとえば大学4年間かけて、面白いや興味深いという方向に変えていかなければいけないと思います。最終的に仕事になると、その面白さを説明しなきゃいけないんです。でも面白さや興味深さは、大学の授業だけでは経験はできません。僕が後輩に伝えたいのは、ボランティアなど積極的に参加すること、大学教授の研究室に行くことです。研究室には、その分野のプロの先生がいますから。自分が知らなかったことを知

株式会社 ムラヤマ 渡邊 太貴さん
イベント営業グループ スポーツイベント営業セクション

●**広島経済大学 2015 年卒**
経済学部 スポーツ経営学科
＜スポーツイベント実績：会場装飾担当（抜粋）＞
2018FIFA ワールドカップロシア大会アジア最終予選（2017）
さいたま国際マラソン（2017～2018）
天皇杯全日本サッカー選手権大会（2018～2019）
ロシアW杯 現地メディアセンター（2018）など

る経験ができます。

谷本●僕も教授のところへはよく行っていました。スポーツのことを何かしらしたいと入学して、1年生は漠然としていたんですが、2年生でゼミを選択してから、永田靖先生（現大阪産業大学）と関わりをもって、いろんな場所へ誘っていただくようになりました。その一つがロサンゼルスへのスポーツ視察経験で、そこでスポーツの道へ進む、と心に決めました。日米でのスポーツを観る形態の違いなども知り、日本でも米国スタイルを取り入れたいと思うようになって、国際スポーツ経験をもつ濱口博行先生の授業をとりました。濱口先生はFIFA ワールドカップなどバリバリと世界で働いていたことも知って、FIFAの方や川淵三郎さんにも会う機会をつくっていただきました。広島経済大学はちゃんと求めればそれに応えてくれる環境があると思います。こうした経験から、いろんなひとと会話して、いまある環境をフル活用して欲しいなと思います。

——スポーツイベントは人脈作り、コミュニケーション力、チーム力の3点を駆使して、大変な思いをしてつくっていく仕事なんだとわかりました。高みを目指し、スケールとクオリティを求める仕事を続けて、日本を代表するプロデューサーになってもらいたいですね



現場で施工管理をする
セレスポ・谷本 共弥さん(左)



「第74回国民体育大会」では
約450張のテントを施工



「ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会（WTS横浜大会）」



WTS横浜大会のため現地で自治体の方と
打合せするジエブ花岡寛斗さん(左)



現場で活躍する
ムラヤマ・渡邊太貴さん

改善の連続

スポーツ業界の「おもしろさ」は数多くありますが、特に私が感じることは「完成されたイベントはない」ということです。

毎年開催されている大会でも課題はでてくるもので、例え改善をしても天候や環境など様々な要因で新たな課題が出てきます。

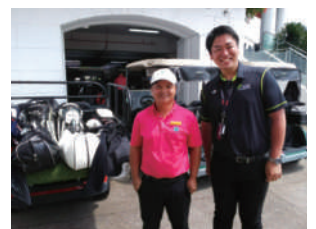
まさに、現状の新型コロナウイルス感染症の影響で担当していたスポーツイベントが縮小になり、運営方法など大幅に変更を行いました。こういったトラブルの中でも、クライアントと会話をしながらベストな選択をしていき大会成功に携われることはこの業界ならではの楽しみです。

オリンピック・パラリンピックを境にスポーツ業界はさらに飛躍していき、その中で仕事として関われることは他業界では感じる事ができない一番のやりがいかもしれません。

（座談会参加予定でしたが、新型コロナウイルス感染症による対応での在宅勤務実施中のため、京條さんにはコメントをいただきました）

株式会社電通スポーツパートナーズ
スポーツ業務1部 京條 一平さん

●**広島経済大学 2017 年卒**
経済学部 スポーツ経営学科
＜スポーツイベント実績（抜粋）＞
東京2020オリンピック日本代表選手選考競技会（2019年）
首都圏最大マラソン大会（2017年）
さいたま国際マラソン（2017～19年）など



スポーツイベント現場の京條一平さん(右)

《編集後記》

広島経済大学の経済学部スポーツ経営学科ではスポーツ関連の理論と実践の科目を中心に学ぶことができる。今回の座談会には、FIFAワールドカップ日本組織委員会での要職を歴任した濱口博行教授から、国際スポーツイベントの生の経験談を直接学び、実践的なアドバイスを得た、というメンバーも多い。現在、舞台裏を支えるプロとしてそれぞれに活躍しているのは、モチベーションの源に気づいて、動き続けたことがいまにつながっている。現在、広島経済大学には、スポーツマーケティングに精通する林和夫教授も加わっており、スポーツイベントを支える未来のプロが育っている。

“ 想像を超える ”

Murayama 株式会社 ムラヤマ
www.murayama.co.jp

今こそ考えよう

スポーツイベント研究所
Sports Event Laboratory

オンライン
配信powered by
BACKSTAGE

緊急討論！

「ドーする？！イベント業界」レポート

新型コロナウイルス感染症の拡大で、さまざまな業種に影響が及んでいるなか、体験型マーケティングに学び、出会うカンファレンスを主催する「BACKSTAGE」実行委員会では、イベント業界向けの討論会を3月16日に緊急開催。アフターコロナに向け、これまでの振り返り、現状の共有、未来への提言を考えるイベントをオンライン配信で展開した。討論会の一部抜粋してレポートする。

新型コロナウイルス禍によるイベントの動向類型

© 岡星竜美

①開催中止	(メインコンテンツを別会場・別時間にweb配信するケースも)	3/22~26 サンノゼ (米) 「GPU Technology Conference (GTC) 2020」
②開催延期	同内容を日程延期	4/1~3 東京ビッグサイト→10月横浜 「第10回コンテンツ東京」
③縮小開催	会場、時間、参加人数、プログラムを縮小	3/1 「東京マラソン 2020」
④無観客開催	日時・会場で実施しweb生配信	2/29 「東京ガールズコレクション 2020」
⑤バーチャル会場 振り替え開催	web空間上で予定プログラムを実施	3/24 KDDI 「MUGENLABO DAY 2020」

開催・中止 その時どうした！？

新型コロナウイルス感染禍、イベント開催の動向は刻々と変化する。2/17厚生労働省による「不要不急の集まりの自粛」要請、そして、2/26安倍晋三首相の「2週間の大規模イベントの自粛」要請と、3/10の10日程度の継続要請による影響も大きい。3/16の討論会では、この間、主催者、会場、サポート企業がそれぞれの立場でどう対応したのか。現状の把握からスタートした。

オンライン開催で実施も

主催者の藤本あゆみさんは、3つのビジネス系イベントで影響を受け

た。2/20「働き方を考えるカンファレンス 2020」(at Will Work) を無観客の完全オンライン開催に切替、3/5・6「Plug and Play Japan Winter/Spring Summit 2020」(Plug and Play Japan) を中止、3/17「Plug and Play Kyoto Batch 1 EXPO」(同) を延期、という決断をした。オンライン配信に至ったイベントの経緯について藤本さんは「スポンサーのあるイベントかどうかは判断基準の一つで、オンラインにしたことで何を還元できるのかを長くディスカッションした」という。逆にスポンサー形式でない2つのイベン

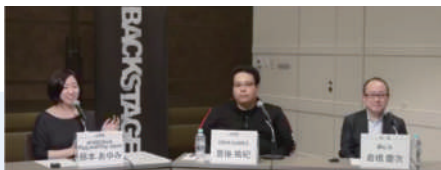
トでは、パートナー企業やスタートアップ、コラボレーターへの還元がオンライン上で等価での提供は難しいという判断で中止・延期に至ったと説明する。

サポート企業の立場で「働き方を考えるカンファレンス 2020」の運営をしたホットスケープの前野伸幸さんは、無観客の完全オンライン開催切替について、2日前の決断で機材変更や台本書き換えなど、チャレンジングではあったとしつつも「イベント会社にとって、中止はすべてが無になってしまう。という意味では無観客でも開催はありがたかった」と本音を吐露した。

また、豊後祐紀さんは、バトル

ロイヤルのeSport大会「PUBG JAPAN SERIES」(DMM GAMES) を主催する。Grade1、Grade2と呼ばれる、サッカーというJ1、J2のようなリーグがあり、1リーグにつき16チーム64選手が所属、リーグ方式で2/28から3/14までのリーグ前半戦はオンラインで実施した。とりわけ前半戦最終日は通常、数十人の観客と選手の集まるオフライン開催だったスタイルをオンラインに切り替えて開催となった。藤本さんの例と異なるのは、選手も試合会場には呼ばずにオンライン参加で実施されたこと。オフライン開催の目的の一つには、同条件による試合の公平性の保持があるが、オ

ンラインでも近い状態にどう切り替えるか運用を模索し、Zoomアプリを使用したという。オフライン開催時のスポンサーとのコラボ企画もオンライン化。試合後、スポンサーのサッポロビールを選手2人で乾杯をし、対戦について振り返る、というのもZoomを通じて配信し、新しい反応を得られたという。eSportは通常、オンラインで配信されており、YouTubeやTwitterライブ配信のPeriscope(ペリスコープ)、ゲーム専門のライブ配信Twitch(ツイチ)を使用しているが、今回は過去最高の同時接続数となった。こうしたeSportsの取組みはリアルスポーツにも応用できる可能性も指摘された。一方で、予定されていた世界大会は延期になったため、日本でのリーグ後半戦も延期に。会場、運営会社などへの対応中だと豊後さんは話す。



〈写真左の左から〉
主催者(BtoBカンファレンス)
藤本あゆみさん
一般社団法人at Will Work代表理事、
Plug and Play Japan株式会社執行役員CMO

主催者(eSports)
豊後祐紀さん
合同会社DMM GAMES /
PUBG JAPAN SERIES 担当

会場
倉橋慶次さん
森ビル株式会社アカデミーヒルズ事業部課長



〈写真中央の右から〉
<MC>主催者(BtoBカンファレンス)
田中準也さん
株式会社インフォバーン 取締役COO

<MCアシスタント>メディア
樋口陽子
本紙編集長、BACKSTAGE 実行委員

〈写真右の左から〉
サポート企業(映像・空間演出)
長崎英樹さん、ゼネラルプロデューサー
株式会社タケナカ 専務取締役
株式会社シムディレクト 代表取締役



サポート企業(ケータリング)
増田聖美さん
ピーシーエム株式会社 新事業開発室 マネージャー / パリスタ

サポート企業(オンラインプラットフォーム)
ヒヤマ コウスケさん
イベントレジスト株式会社 代表取締役/CEO
BACKSTAGE 実行委員長

サポート企業(企画・運営)
前野伸幸さん
株式会社ホットスケープ 代表取締役
BACKSTAGE 実行委員

4月まで95%減
ケータリングはゼロに

オンライン開催への切替え、延期、中止という判断が続くなか、会場やサポート企業への影響はどうか。

イベント主催者にチケットティングなどのプラットフォームを提供するイベントレジストのヒヤマコウスケさんは「イベント動向類型(6p表)のように、さまざまな対応があります。『開催自体が減っている』と思われますが、

マーケティングではどちらを先に考えるべきか？

82%

投票受付中

BACKSTAGE

2020
12.21 MON @TORANOMON HILLS FORUM
体験型マーケティングに学び、出会う1日
#backstage20
BACKSTAGE

今年の冬は暑くなる

～初の冬開催～

EVENT MARKETING からの大事なお知らせ

災害・アクシデントに負けない
イベントのSDGs

次の2020年4月30日号で特集します
♡持続しないとダメ

5月31日 映像がつくるイベントの未来図
6月30日 展示会・イベント会場特集
7月31日 食こそイベント！ イベマケ5周年
8月31日 イベントの演出・盛り上げりを因数分解
9月30日 イベントは大阪だ！ エネルギーが止まらない

広告出稿の問合せはこちら▷株式会社 MICE 研究所
info@event-marketing.co.jp (担当：田中力)

実際には前年比3割減ほど」とし、世の中の体感値からするともっと多いと思われるが、縮小、延期、代替開催で展開されていると話す。政府からの発表の期間に該当するイベントで判断されている傾向にあるという。

森ビルで虎ノ門ヒルズフォーラムと六本木ヒルズフォーラムを運営する倉橋慶次さんは、「会場への問合せは、当初、海外参加者が多く予定されるイベントなどからはじまって、2月17日の政府発表や東京マラソンでの一般枠中止などを皮切りにキャンセルが相次ぎました。3月は2会場合わせて7割以上8割弱が中止または延期になっています」と話す。4月は4～5割減で、5月以降については影響は少ないという。

イベントを中心にケータリング提供を行っているピーシーエムの増田聖美さんは「イベントには、情報発信するものもあれば、オープニングセレモニーなどその日にしかできないことがあって、主催者さんはギリ

ギリまで検討を重ねている。縮小やパッケージフードへの変更でなんとか開催に向けた提案をしていたものの中止になったケースもあります。2/17以降、バタバタと1ヶ月先のオーダーがなくなり、現時点ではすべてキャンセルです。イベント自体の開催はあってもケータリングのみキャンセルというのがほとんどで、5月中旬までそのような状態です」と現状を伝えた。スタッフは全員衛生管理士の資格保持者で、こうした環境下でも安全な提供をと健闘しているが、厳しいという。

イベント企画会社として30年以上の経験をもつホットスケープ前野さんは、今回の新型コロナウイルス禍は3.11の震災時のイベント自粛よりも「先が見えない」とし、「終息の目処がつかないのが辛いところ」という。現時点での影響は2月末から4月までのイベントのうち、95%は中止または延期となる。会社としてイベント制作・プロデュースの売上が立たな

い状況で、会場運営の業務委託、プロジェクトコンサル事業などの他の柱があって支えられていると話した。

イベントを映像演出で支えるタケナカ、シムディレクトの長崎英樹さんは、展示会、音楽ライブ、国際会議、株主総会とBtoBからC向けまで幅広く展開、プロジェクションマッピングも手掛けており商業施設での実施にも影響が出ている。イベント事業では95%が中止・延期だという。2月初旬からキャンセルポリシーの問合せが相次ぎ、千人規模から数万人規模と大規模イベントに当たることから、慎重に早期の判断になっている、と伝えた。話題性の高いイベントも、経済活性化のために実施に踏み切ろうとも風当たりが強く、告知を控えたり、時期を変更するなどの対応が出ている。具体的には、よみうりランドのエンタメ植物園「HANA・BIYORI(はなびより)」オープニングが3/14から3/19、最終的には3/23へと日程を変更された。



オンライン配信は、FacebookとYouTubeのライブ配信から行った。BACKSTAGEのFacebookイベントページ内で投稿したライブ配信の視聴者は100分超の配信で、125人をピークに100人前後の視聴があり、東京、神奈川、千葉、大阪、埼玉、宮城、兵庫、京都、山口からも視聴参加があった。コメント数は199件(主催者返信含む)と、視聴者からの質問にも一部回答しながらのオンラインイベントとなった。

取ってもらって、一方で企画スタッフ、プログラマーやクリエイターとは毎日企画会議をしているところ」という。「これまでリアルに浸かっている体験があると、バーチャルへの頭の切替えはなかなか難しい。その部分の変革もこの時間をつかってチャレンジしていきたい」とした。

増田さんは「リアルはやはり欠かせないと思う。この時期は、ピンチをチャンスに捉え、新しいサービスやより良いサービスの向上に充てて、他社にはない新しいケータリングを企画しています。イベント開催が復活した際には、ピーシーエムへご相談いただきたい」と伝えた。

ヒラヤマさんは「リアルの価値が再認識される、大きなチャンスだと前向きに捉えている。世の中でイベントのことがこれほど語られているタイミングはこれまでなかったし、イベントをメディアとして捉えると収容キャパシティに限界があったのが配信をハイブリッドに加えることで広がる。もともと語られていたことではあるけれど、切実だからこそ気づ

いた可能性は大きい」と今後に期待を込めたメッセージとなった。

前野さんは「一番の敵は新型コロナウイルスだけれど、もっと怖いのは、この状況に下を向いて動かなくなってしまうこと。創造力を試されているようでもあると感じる。業界内外にかかわらず、情報を交換して、課題解決に向かっていきたい。そのときに必要なのは、変化へのスピード」とし、進化への途中とし、情報共有を求めた。

進行を務めたインフォバーンの田中準也さんは「最後の皆さんからのメッセージは、普段から会社や身の回りで話しているからこそ発せられた言葉と感じられた」とし、「進化が少し早く来たという感覚で乗り切ることと、日本の民度をあげて、デイス文化ではなく、みんなでうまくポジティブに伝える文化を発信してグローバルに波及していきたい」と締めくくった。

*発言内容は3/16現在のもの。本紙では刻々と変わる現状を注視して取材を続けます

アフターコロナでどう変わる！？

討論会では、今後の対応として、現在、イベントの現場がないなかで、社員スタッフへの時間の使い方やリスク管理の再考についても展開した。また、こうした状況だからこそ、イベントの通常再開時には、新たな局面を迎えるという指摘もある。アフターコロナに向けてというだけでなく、5年後10年後のイベントの転換点ともなるようないまを、起点と捉えたとき、それぞれの立場から今後必要となる考えとともに、メッセージを伝えてもらった。

イベントの転換点！？

藤本さんは、「オンライン配信などの切替えも経験をして、主催者としては時間と空間を拡張したなかでの選択ができるようになった。オンラインの活用はチャンスでもある。一方で、オフラインでの開催目的が明

確になることで価値がこれまで以上に上がるのでは」として、「いまは試す時期、単に自社のではなく、みんなのナレッジにするため、共有していきたいでしょう」と伝えた。

豊後さんは「世界大会を控え、パブリックビューイングを開きたいという話が出ていましたが、オンライン上で、どこまでオフラインと同じような熱で応援できるか、そのような形を今後考えていきたい」と話し、「eSportsだからできることある。世の中を明るくしていくための仕組みを皆さんと考えたい。また、イベント保険の拡充を保険会社にはお願いしたい」とメッセージを送った。倉橋さんは「主催者さんも参加者さんもオンラインでの参加に慣れてくれば、会場もこれまでの通り都心に空間があればよいということではな

くなってくる。新たな展開を模索しています」とし、「ある意味、いまは時間ができて、既存のカテゴリーや職種を超えて新たな結合をするタイミングでもある。業界に限らず日本全体がイノベーションに向かう後押しと前向きに捉えたい」と締めくくった。長崎さんは「タケナカでは2年前から“Real & Virtual Experience Provider”というメッセージを打ち出している。とは言いながら、リアルの案件が立て続いていたため、バーチャルに思うよりも時間をかけられていなかった。今回、あり余るほどできた時間で、バーチャルキャラ、VR、バーチャルスタジオなど、それぞれを点、点と存在していたものを掘り起こし、組み合わせで新しいものを生み出したい。実際に技術スタッフにはこれまで溜まっていた休暇を

face to face を科学するイベントメディア

オンラインも強い EVENT MARKETING

最新ニュースやアーカイブ、
バックナンバーも読めるウェブサイト



特集記事の裏話や
イベマケ編集部
の日常がわかるメルマガ



<http://www.event-marketing.co.jp>
Facebook と Twitter もやってます

66 電力 処理能力 需要 100%

展示会場以外の電気工事ができる事をもっとアピールした方がいんじゃないの？

最近スポーツイベントでの工事も増えてきました。映像が映るといつい観客の方と一緒に興奮しちゃいます

株式会社 鈴木電機

〒111-0033 東京都台東区花川戸 2-12-5
TEL 03(3842)8201 (代) FAX03(3845)3040
URL : <http://www.suzukidenki.co.jp>

映像・演出機器が充実の新施設 品川・港南にオープン

—— AP 品川／TC フォーラム

開発が進む品川・港南エリアのAP品川が5月11日に開業。高輪エリアの現AP品川は3月末に閉館、AP品川アネックスは営業を継続する。

新施設の特長は3つ。「シンプルなデザイン」、「ラグジュアリーな雰囲気」、「充実した演出機材」。

200㎡、100㎡、50㎡、16㎡のスペースが各2室あり、シンメトリーな配置で回遊性が高く、フロア貸切りのイベントに効果を発揮する。

3方向がガラス貼りで運河も見渡せる。ダウンライトやスポットライトによる高級感ある演出で、会議後の懇親会などON/OFFの切替ができそう。ケータリングは5社の契約会社から選べ、ハラルも対応する。

16㎡の2室をのぞく各室には120インチスクリーンとDLPプロジェクターが天吊で設置されているほか、マルチスィッチャー、高音質フロントスピーカー、演出用ライティング



AP品川は左右対象なレイアウト

レール、スポットライトなど、豊富な映像・音響・照明機器が常設されている。ネットワーク環境はアクセスポイント11台設置、オンライン配信にも強い施設だ。

運営するTCフォーラムは「施設の価値は優れたコンファレンスコーディネーターが担う」という考えのもと、“顧客の期待を超えるサービス”を実現する支配人研修、施設内での実践的マナー研修を実施。ソフト・ハード両面で主催者を支える。



蛭田紀生さん
(株)TCフォーラム
品川エリアセンター長



清水拓志さん
(株)TCフォーラム
営業推進部長

あらゆる
価値観を
定義する場所

.0 (point 0)

#05 「point 0 ×オンライン」

Powered by point 0



新型コロナウイルス（COVID-19）は、世界的に企業やイベント、経済活動へ大きな影響を与えている。point 0 marunouchiでも入居企業が在宅勤務や時差出勤などの対応策が取られており、いつもより利用者数が少ない期間となっている。

そんな中、point 0 marunouchiには、株式会社アイデミー（以下、アイデミー）が入居しており、日本最大級の先端技術のオンラインラーニングサービスを提供している。今回はアイデミー執行役員・河野英太郎氏にインタビューを行った。

やってみたら、なんてことない

「こんな形でオンラインが普及することになってしまったが、何事もやってみて、使ってみて当たり前になることも沢山あるように思います。例えば、インターネットでメールをするのも、スマートフォンを使用することも、今となっては当たり前の時代になりましたよね。オンライン会議も最初は抵抗感があると思いますが、慣れることで感覚もオンラインでのコミュニケーション用に感覚が合ってくると思います」

オンライン会議、イベント時のコツ

オンラインと対面でのコミュニケー

ションで、相手に対してリスペクトを示すこと、相手の話に反応することは変わらない。オンライン初心者でも「このポイントだけは抑えておいてほしい」をいくつかご紹介したい。

①オンライン会議を行うときは、短い時間でも、化粧をしていなくても、寝起きでもビデオをONにすることで、そこに相手がいる安心感を与える。

②大人数での会議の際は、話している人以外のマイクはOFFに、話している相手には適度に相槌をする。

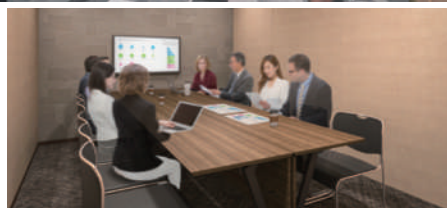
この相槌は、自分が話すタイミングだけマイクON、もしくはビデオ画面を通してOKという簡単なジェスチャーをするなどだ。

③イベントの際は、チャット機能は積極的に活用し、質問などがあれば参加者に書き込んでもらい、スピーカーが拾っていくなどの工夫を行う。

どれも小さいTIPSで、今日からでもできる内容だ。

特にイベントを行うときは、参加者をどれだけ巻き込めるのかが鍵だ。参加者の中に知っている人がいれば、名前を呼びかけてイベントに引き入れてしまってもいいという。

オンライン会議・イベントが上手くしっくりこないという方は、ぜひ試してみてください。 (文・写真・岡本侑子)



2020.5
GRAND OPEN

“品川駅港南口 徒歩6分”

「AP品川は高輪口から港南口へ移転いたします」

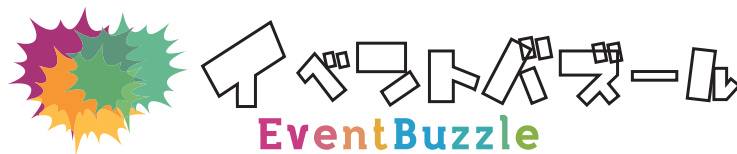


“この空間から次のビジネスが始まる”
東急グループ「貸し会議室」
東京・横浜・名古屋・大阪にて展開

TEL : 03-3472-3109

〒108-0075 東京都港区港南 1-6-31 品川東急ビル 8F

※ 掲載の情報は公開時のもので変更になる可能性があります。



みなさま、お待たせしました。 お待たせし過ぎたかもしれません。

主催者の方々には、イベント参加者を満足させることに集中して欲しい。そんな想いから生まれた、イベント主催者向け情報サイトが「イベントバズール」です。イベント会場、集客ツール、運営サービス、ケータリング、などなどイベント開催に欠かせない情報を、ワンストップでチェックできるサイトを目指しています。

いま、イベントバズールは、皆さまのお役に立つため、さらに見やすく、さらに情報を増やして、生まれ変わろうとしています。



いよいよ次号

β版の情報掲載開始！



<http://eventbuzzle.com>